

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館

TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト

TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040

●URL <https://www.teijin.co.jp>

2026年3月11日

再生医療 CDMO 拠点「岩国ファクトリー」が本格稼働

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：内川 哲茂）のグループ会社で、再生医療 CDMO(*)事業を展開する帝人リジェネット株式会社（本社：東京都千代田区、社長：田中 泰至）が山口県岩国市に構築してきた「岩国ファクトリー」の拡張工事が2026年1月末に完工し、本格稼働を開始しました。

(*) CDMO：開発製造受託機関

帝人リジェネットは、2023年に設立した再生医療製品の開発製造受託機関（CDMO）事業を専業とする帝人のグループ会社で、バイオベンチャー企業や製薬企業に向けて、再生医療製品に関する製造工程の開発から製品の製造までをワンストップかつシームレスに支援するCDMOサービスを提供しています。

「岩国ファクトリー」は、帝人の岩国事業所内で2024年に開設後、2度の拡張工事を行い、このたび完工に至りました。千葉県柏市の「柏の葉ファシリティ」とともに帝人リジェネットのCDMO事業の中核拠点として、がんの治療などに用いられるキメラ抗原受容体T（CAR-T）細胞療法製品やiPS細胞製品などの受託生産を担います。

同ファクトリーは、培養室7室、品質試験室2室と実験室1室の体制で、年間1000例以上のCAR-T細胞療法製品の生産が可能です。すべての培養室は再生医療等製品の製造・品質管理の基準であるGCTP(*)に準拠しており、国際水準の品質管理基準を備えていることで、海外からの受注にも対応しています。

(*) GCTP (Good Gene, Cellular, and Tissue-based Products Manufacturing Practice)：「再生医療等製品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令」

また、生産性向上の取り組みとして、培養室のうち1室に「ボールルームコンセプト」を採用しています。製品生産用の機器や設備を固定しない無柱の空間（ボールルーム）に、完全閉鎖系自動培養装置などを組み合わせることで、生産する製品の種類や、製造工程の変更に応じた自由なレイアウトが可能になり、ひとつの培養室内での複数製品を同時に製造できるほか、動線の最適化で人の移動で生じる無駄を削減し、省力化とコスト削減を実現しました。

さらに、生産ラインの各工程を連携させ、在庫および進捗状況をリアルタイムに把握するMES（製造実行システム）を導入しています。作業計画や生産資源の配分、監視、品質管理などのデータを「柏の葉ファシリティ」と2拠点で同時に把握し、最適な工程管理を行うことで、さらなる生産性の向上のみならず、柔軟な地域対応やBCP対応も実現しています。

【施設概要】

名 称	岩国ファクトリー
所 在 地	山口県岩国市日の出町 2-1
運営会社	帝人リジェネット株式会社
機 能	再生医療 CDMO（開発製造受託機関）
施設床面積	2400 m ²
完 工	2026 年 1 月 30 日
準 拠 法	・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法） ・再生医療等製品製造業（一般）許可 ※2024 年 11 月取得



「岩国ファクトリー」外観



「岩国ファクトリー」内での作業

帝人グループは、国内外における再生医療の産業化を加速させ、革新的な治療を待ち望む患者さんへ新たな選択肢を提供することによって、長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」を目指します。

以 上

【 報道関係のお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055